

研究タイトル：「BIA 法による細胞外水分比の評価は、術後患者における骨格筋量低下の指標となり得るか」の研究

1. 研究対象

当院で胃切除、食道切除術を受けた患者さん

2. 研究目的・方法

骨格筋には、体内の栄養素をためておく大きな「タンク」の役割があり、十分な栄養が摂れない状態が続くと、骨格筋は減少します。そのため、骨格筋量の増減は、栄養状態の評価に用いられています。当院では骨格筋量の評価に体組成分析（BIA 法）や CT 画像を用いていますが、評価方法ごとの特徴を解析することで、より精度が高い骨格筋量の評価を行えるのではないかと考え、検討を行います。

3. 研究期間

倫理申請許可日～2028 年 1 月 31 日

4. 研究に用いる情報の種類

以下の臨床情報を取得します。

診療録より：年齢、性別、身長、体重、CT 画像から測定した骨格筋量、体組成分析の結果、術式など

5. 外部への情報提供

第 42 回栄養治療学会学術集会

6. 研究組織

長野市民病院 栄養サポートチーム

7. お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

また、本研究の対象となる方または、その代理人より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な処置を行いますので、その場合も下記へご連絡をお願いいたします。

尚、研究不参加を申し出られた場合でも、不利益を受けることはありません。ただし、お申し出をいただいた時点で既に研究結果が学会、論文などで公表されていた場合等には結果を破棄出来ない場合もあり、引き続き使わせていただくことがあります。

長野市民病院 栄養科 小池 泰子

電話番号：026-295-1199(代)